

25 物流革新に向けた取組の推進

令和8年度予算概算決定額 26,409百万円（前年度 26,264百万円）
〔令和7年度補正予算額 10,011百万円〕

<対策のポイント>

物流の標準化、デジタル化・データ連携、モーダルシフト、ラストワンマイル配送等の取組や物流の自動化・省力化等に必要な設備・機器等の導入、産地から港湾・空港までの最適な輸送ルート・体制の構築や新たな輸出物流の構築、中継共同物流拠点の整備、卸売市場の再編・集約・高度化等を支援します。

<政策目標>

流通の合理化を進め、飲食料品卸売業における売上高に占める経費の割合を削減（12.4% [令和5年度実績]→10% [令和12年度まで]）等

<事業の全体像>

1. 持続可能な食品等流通対策事業

420百万円（前年度 120百万円）

物流の標準化（標準仕様のパレット導入等）、デジタル化・データ連携（伝票の電子化、トラック予約システム等）、モーダルシフト、ラストワンマイル配送等の取組や物流の自動化・省力化・品質管理に必要な設備・機器等の導入を支援します。

2. 強い農業づくり総合支援交付金

12,013百万円（前年度 11,952百万円）の内数

産地の集出荷体制の合理化に必要な集出荷貯蔵施設等の整備や、パレットの規格統一化に対応したパレタイマー導入に係る施設の改修等を支援します。また、物流の効率化に資する卸売市場、共同物流拠点の整備・機能強化を支援します。

3. 持続的生産強化対策事業

13,976百万円（前年度 14,192百万円）の内数

① 時代を拓く園芸産地づくり支援

加工・業務用野菜産地における物流合理化に資する大型コンテナの導入や予冷庫の利用等、新たな生産・流通体系の構築等を支援します。

② ジャパンフラワー強化プロジェクト推進

花き流通の効率化に資する卸売市場・小売事業者の有する販売データを基にした国内外の需要動向を花き業界関係者で共有する仕組みづくりや花き流通標準化ガイドラインに即した物品・情報の流通の効率化等に必要な検討会の開催、実証、普及活動等を支援します。

4. 食品等物流合理化緊急対策事業

令和7年度補正予算額1,967百万円

① 物流生産性向上推進事業

標準パレットの導入、デジタル化・データ連携、モーダルシフト等の取組や設備・機器等の導入を支援します。

② 推進事業

産地や業界等の課題に応じて物流の専門家等を派遣する伴走支援等を支援します。

③ 輸出物流構築事業

地方港湾・空港を活用した効率的な輸出物流を構築する取組、デジタル化、自動化・省人化に必要な設備・機器の導入等を支援します。

④ 中継共同物流拠点施設緊急整備事業

中継輸送、共同輸配達、モーダルシフト等に必要となる中継共同物流拠点の整備を支援します。

5. 卸売市場緊急整備事業

令和7年度補正予算額7,844百万円

卸売市場の再編・集約、輸出拡大に向けた卸売市場の高度化を支援します。

(関連事業)国産青果物安定供給体制構築事業

令和7年度補正予算額200百万円

① 国産野菜周年安定供給強化事業

加工・業務用野菜産地における物流合理化に資する大型コンテナの導入や予冷庫の利用等、新たな生産・流通体系の構築等を支援します。

② 青果物流通合理化支援

サプライチェーンの連携強化に向けた生育予測・集出荷システム等の導入、連携、流通業者等の受入体制に合わせた出荷規格の見直し等の実証を支援します。

持続可能な食品等流通総合対策事業

令和8年度予算概算決定額 420百万円（前年度 120百万円）

〔令和7年度補正予算額 1,967百万円〕

<対策のポイント>

我が国の物流における輸送力不足への対応や、農業・食品産業基盤等の食料供給能力の確保のため、①標準パレットの導入、デジタル化・データ連携、ラストワンマイル配送の取組、デジタル化や自動化・省人化に必要な設備・機器等の導入等、②中継共同物流拠点の整備を通じた流通の合理化や、③産地から港湾・空港までの最適な輸送ルート・体制の構築や地方港湾・空港を活用した新たな輸出物流の構築等を推進し、国民の食料安全保障を確保します。

<事業目標>

流通の合理化を進め、飲食料品卸売業における売上高に占める経費の割合を削減（12.4% [令和5年度実績] →10% [令和12年度まで]）等

<事業の内容>

1. 持続可能な食品等流通対策事業

420百万円（前年度 120百万円）

標準パレットの導入、デジタル化・データ連携、モーダルシフト、ラストワンマイル配
送等の取組や、物流の効率化に必要な設備・機器等の導入を支援します。

2. 食品等物流合理化緊急対策事業 【令和7年度補正予算額】1,967百万円

① 物流生産性向上推進事業

973 百万円の内数

標準パレットの導入、デジタル化・データ連携、モーダルシフト等の取組や、物流
の効率化に必要な設備・機器等の導入を支援します。

② 推進事業

973 百万円の内数

物流改善に取り組む者を対象に、産地等の課題に応じて**物流の専門家等**を派遣
する**伴走支援等**を支援します。

③ 輸出物流構築事業

973 百万円の内数

地方港湾・空港を活用した新たな輸出物流を構築する取組、デジタル化、自動
化・省人化に必要な設備・機器の導入等を支援します。

④ 中継共同物流拠点施設緊急整備事業

994百万円

中継輸送、モーダルシフト等に必要となる**中継共同物流拠点の整備**を支援します。

<事業の流れ>



[お問い合わせ先] (1、2①～③の事業)
(2④の事業)

大臣官房新事業・食品産業部食品流通課物流生産性向上推進室 (03-6744-2389)
卸売市場室 (03-6744-2059)

<事業イメージ>

流通関係者による協議会

産地 卸売業者 小売業者 物流事業者 輸出事業者 等

<物流生産性向上推進>

標準パレット化、デジタル化・データ連携



モーダルシフトへの適応



冷蔵庫・パレタイザー導入 物流施設の利用

<中継共同物流拠点の整備>

大型車に対応した

トラックバースの整備



コールドチェーン確保の
ための冷蔵設備の整備



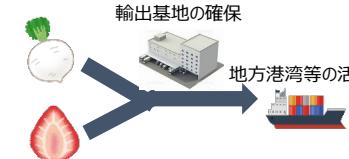
<ラストワンマイル配送支援>

移動販売車、乗合バス導入



<輸出物流の構築>

輸出基地の確保



新たな食品流通網の構築



食品流通拠点整備の推進（強い農業づくり総合支援交付金の一部）

令和8年度予算概算決定額 12,013百万円（前年度 11,952百万円）の内数

<対策のポイント>

卸売市場の物流機能を強化し、将来にわたって生鮮食料品等の安定供給を確保するため、物流の標準化やデジタル技術等の活用による業務の効率化・省力化、防災・減災への対応を図り、幹線輸送、有機農産物や小口需要対応、輸出拡大の拠点となり得る卸売市場施設等の整備を支援します。

<事業目標>

流通の合理化を進め、飲食料品卸売業における売上高に占める経費の割合を削減（12.4% [令和5年度実績] → 10% [令和12年度まで]）等

<事業の内容>

1. 卸売市場施設整備

生鮮食料品等の流通の確保のための機能の高度化、輸出拡大、防災・減災対策を実現するため、

- ① 物流の効率化・自動化・省力化
 - ② 共同輸配送等に対応する物流機能の強化
 - ③ デジタル化・データ連携の強化
 - ④ 品質・衛生管理の高度化
 - ⑤ 分荷機能の強化
 - ⑥ 輸出先国までのコールドチェーン・衛生管理基準の確保
 - ⑦ 災害時の物資調達・供給拠点機能の強化
- 等に資する**卸売市場施設の整備**を支援します。

2. 共同物流拠点施設整備

物流効率化やCO2排出削減に資する共同配送・モーダルシフトのための**ストックポイント等の共同物流拠点施設の整備**を支援します。

<事業の流れ>

交付（定額）

4/10、1/3以内



<事業イメージ>

1. 卸売市場施設整備

全天候型で、左右どちらにも荷下ろし可能な中央通路



外気の影響を受けないドックシェルター



需要に対応した大小の定温施設



非常用電源



データ連携・デジタル化による業務の改善



自動搬送装置



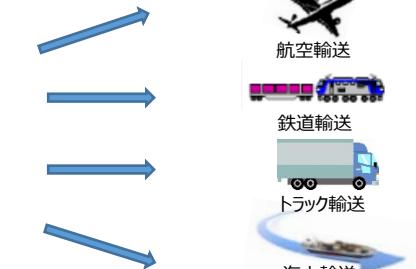
加工処理施設



非常用電源

2. 共同物流拠点施設整備

共同物流拠点



[お問い合わせ先] 大臣官房新事業・食品産業部食品流通課 (03-6744-2059)